

競技会名 国際交流日本ジュニアヨットクラブ競技会2014
 共同主催 一般社団法人日本ジュニアヨットクラブ連盟(以下JJYUと云う)
 東京都ヨット連盟
 期 日 平成26年5月3日(土)、4日(日)、5日(月)
 会 場 東京都立若洲海浜公園ヨット訓練所及び沖海面
 〒136-0083 東京都江東区若洲3丁目1番1号
 連絡電話：03-5569-6703
 ※開会式・国際交流会会場：ホテルマリナーズコート東京
 ※競技海面：東京湾若洲沖海面（OP級上級者、レーザー4.7、国際420級）及び
 東京都立若洲海浜公園ヨット訓練所ポンド内（OP級初級者）
 ※閉会式会場：東京都立若洲海浜公園ヨット訓練所内
 競技種目 ①OP級初級者 ②OP級上級者 ③レーザー4.7 ④国際420級

レース公示

1 規則

- 1. 1 本競技会は、2013-2016セーリング競技規則（以下「規則」という）に定義された規則を適用する。
- 1. 2 使用言語間で矛盾が生じた場合は、英文を優先する。

2 広告

艇は、主催団体により選択され提供された広告を表示するよう要求されることがある。

3 参加資格

- 3. 1 国内参加選手は平成26年度 JSAF 会員である者
 (会員未登録の場合は参加受付時に会員登録可)
- 3. 2 JJYUに登録しているジュニアヨットクラブが提出した平成26年度ジュニアセーラー名簿記載の選手(未登録クラブの選手は参加申込み時までにクラブの登録をして参加可)
- 3. 3 主催者が招待した海外チームの選手
- 3. 4 主催者が参加を認めた選手
- 3. 5 各級の年齢制限（平成26年4月2日現在）を満たす者
 - * OP級・・・・・・・・・・・・・・・・ 6歳 以上 15歳 以下
 - * レーザー4.7・・・・・・・・・・・・ 12歳 以上 18歳 以下
 - * 国際420級・・・・・・・・・・・・ 15歳 以上 18歳 以下
- 3. 6 これまでの国際交流日本ジュニアヨットクラブ競技会の初級者種目で艇種に関係なく入賞の成績に入った者は、同一艇種に出場する場合はそれぞれの上級者種目に参加しなければならない。
 但し、参加申込み時に第12項「表彰」の辞退を表明された場合は主催団体の裁量で同種目の参加を認める場合がある。

4 参加料等

4. 1 参加料等

選手	9,000円/1人	(交流会費・弁当代込)
J J Y U未登録クラブの選手	13,000円/1人	(交流会費・弁当代込)
2人乗り艇(国際420級)選手	18,000円/1艇	(交流会費・弁当代込)
指導者・保護者	3,000円/1人	(交流会費込)
J J Y U未登録クラブの指導者・保護者	5,000円/1人	(交流会費込)
同伴小中高生	2,000円/1人	(交流会費として)

4. 2 その他の料金

※艇持ち込み料

東京都立若洲海浜公園ヨット訓練所へのヨット、サポートボートの持ち込みについて利用料が徴収される。

減免措置(半額)により1艇1日当たりヨットは500円、サポートボートは750円となる。

ヨットについては本競技会主催者で負担する。サポートボートは各クラブの負担とする。

持ち込み料1艇1日750円は利用日数を計算して合計金額を参加料と一緒に振り込むこと。

※弁当(飲物付き)は参加選手全員に3日間無料配布する。(3日目はカレーライス)

指導者・保護者、同伴小中高生で弁当希望者には、600円/個(飲物付き)で準備する。

クラブで纏めて、参加申込書に競技会の日程ごとに希望数を記入して申し込むこと

競技会最終日(5日)の昼食のカレーは全員に無料で提供する。

4. 3 チャーターボートのチャーター料と申込方法

OP級、レーザー4.7、国際420級についてチャーター艇の用意があるが、隻数、艇の状態については限度があり希望に添えない場合がある。

実行委員会に照会の上、参加申込書に記入して申し込むこと。

チャーター料(競技会期間)は以下の通りとする。

OP級(国産艇)	5,000円
レーザー4.7(一式)	13,000円
レーザー4.7(ロアマスト・セールのみ)	5,000円
国際420級(一式)	20,000円

(OP級は国産艇ですが、初級者、上級者どちらにも貸与する。)

尚、選手自身の責任による衝突その他による艇、備品の破損等の修理代を担保するために、クラブとしてデポジット20,000円を参加料と共に納入すること。

特に何も問題がない場合には、競技会終了後出来るだけ速やかに返金する。

参加申込書に返金の振込先を記入すること。

4. 4 所定の「参加申込書」と「参加選手リスト」(名前には必ずフリガナを付けること)に必要な事項を記入の上、期限までに下記の申込み先宛てにEメール又はFAXで申し込むこと。

(メール送信可能な方は参加申込書、選手リストをファイルとして添付のこと)

《参加申込み先》

国際交流日本ジュニアヨットクラブ競技会実行委員会

事務局長 熊川 博

Eメール info@jjyu.net

F A X 0 4 6 6 - 9 0 - 3 6 1 8
 電話 0 4 6 6 - 9 0 - 3 6 1 7
 携帯電話 0 9 0 - 5 9 9 3 - 1 2 9 8

《参加料等振込先》 三井住友銀行 新橋支店
 普通預金 口座番号 1 4 1 7 9 7 6
 口座名義 一般社団法人日本ジュニアヨットクラブ連盟

4. 5 申込み期限

「参加申込書」、「参加選手リスト」のEメール/FAXによる申込み及び参加料等の振込は平成26年4月14日(月)までに必着のこと

5 日 程

5. 1 第1日目：5月3日(土・祝)

08：00～14：00 受付・帆走指示書配布 (東京都立若洲海浜公園ヨット訓練所内)

12：30～ トライアルレース (東京湾若洲海浜公園沖A海面とポンド内B海面)

予告信号 予定時刻	A海面	予告信号 予定時刻	B海面
12：30	国際420級 トライアルレース	12：30	OP級者 トライアルレース
12：35	レーザー4.7 トライアルレース		参加艇数によりブロックを分け、
12：40	OP級上級者 トライアルレース		可能な限りレースを実施する

16：30～17：30 開会式 (マリナーズコート東京)

17：30～17：50 安全講習会 (会場：同上)

※選手、指導者・保護者、競技役員全員参加

17：50～18：20 競技運営説明会 (会場：同上)

※選手、指導者・保護者、競技役員全員参加

18：30～20：00 国際交流会とイベント (会場：同上)

※選手、指導者・保護者、競技役員全員参加

5. 2 第2日目：5月4日(日) 種目別スタート順番とスタート予告信号予定時刻

予告信号 予定時刻	A海面	予告信号 予定時刻	B海面
9：30	国際420級 第1レース	9：30	OP級初級者 第1レース
9：35	レーザー4.7 第1レース		参加艇数によりブロックを分け、
9：40	OP級上級者 第1レース		予選、決勝方式でレースを実施する
引続き	国際420級 第2レース		
5分後	レーザー4.7 第2レース		
5分後	OP級上級者 第2レース		
13：30	国際420級 第3レース		
13：35	レーザー4.7 第3レース		
13：40	OP級上級者 第3レース		
引続き	国際420級 第4レース		
5分後	レーザー4.7 第4レース		
5分後	OP級上級者 第4レース		

5. 3 第3日目：5月5日(月・祝) 種目別スタート順番とスタート予告信号予定時刻

予告信号 予定時刻	A海面	予告信号 予定時刻	B海面
9：30	国際420級 第5レース	9：30	OP級初級者 当日第1レース
9：35	レーザー4.7 第5レース		
9：40	OP級上級者 第5レース		
引続き 5分後 5分後	国際420級 第6レース レーザー4.7 第6レース OP級上級者 第6レース		

この日は12時より後に予告信号を発しない。

※以上、競技日程は天候等によりやむを得ず変更されることがある。

16：00～17：00 閉会式（会場：東京都立若洲海浜公園ヨット訓練所内）

5. 4 レース数

OP級初級者クラス以外の各種目は2日間で6レースを予定するが1レースの成立をもって競技会は成立する。

OP級初級者クラスは、参加艇数により2以上のブロックに分けて、予選、決勝方式でレースを行うが、詳細は競技運営説明会で説明する。

6 計測

6. 1 各艇は、艇を持参する場合には有効な計測証明書を受付時に提示しなければならない。但し、提示出来ない場合には実行委員会に申し出て相談すること。
6. 2 本競技会は、事前計測は実施しないが、艇体、セールとも競技会期間中に随時計測を行う場合がある。

7 帆走指示書

帆走指示書は平成26年5月3日(土)の受付時に配布する競技会プログラムに記載する。

事前には平成26年4月下旬までにJJYUと東京都ヨット連盟のホームページで公開する。

JJYUのホームページ

<http://www.jjyu.net>

東京都ヨット連盟のホームページ

<http://tsaf.com>

8 開催地

図-1に競技会の開催地、A・B各レース海面の位置を示す。

A海面：OP級初級者以外のすべての種目

B海面：OP級初級者

9 コース

A海面ではトラペゾイド・コース、B海面では風上-風下コースまたはトライアングル・コースを予定し、詳細は帆走指示書にて指示する。

10 ペナルティー方式

10. 1 規則42の違反に対し付則Pを適用する。

10. 2 規則P 2. 3は適用せず、規則P 2. 2を2回目以降のペナルティーと変更する。

11 得点方法と順位確定方法

11. 1 OP級初級者クラス以外の各種目は、5レース以上が成立した場合は最も悪いレースの得点を除外した合計得点で順位を確定する。

それ以外は全てのレースの合計得点を計算して順位を確定する。

OP級初級者クラスは、全てのレースの合計得点を計算して順位を確定する。

これは規則 A 2を変更している。

11. 2 種目別個人対抗レースの得点方法と順位確定方法

① 国際交流ジュニアヨット種目別個人対抗レースの成績は国内選手と海外選手を合わせた全選手の得点により順位を確定する。

② 国内ジュニアヨット種目別個人対抗レースの順位は上記①の順位に基づいて確定する。

11. 3 ジュニアヨットクラブ対抗レースの順位確定方法

11. 2①の種目別個人対抗レースの成績結果を用いて次の方法によりジュニアヨットクラブ対抗レースの順位を確定する。

① 各ジュニアヨットクラブの選手が参加している全種目の内、6艇以上の参加する種目の上位3艇の成績の順位を合計する。

② 各ジュニアヨットクラブの本競技会の参加艇数が3艇以上の場合は、3艇を超える超過分1艇につき-1点の評価点を加算し、その加算は-5点を限度とする。3艇に満たないときは3艇に不足する分だけ1艇につき最多参加艇数の種目の最下位の順位を加算する。

③ 遠隔地からの参加クラブについての評価点として、競技会開催地から500km以上のクラブについては、-2点の評価点を加算する。但し、チャーター艇で参加の場合には、-1点とする。距離はクラブ住所地の県庁所在地（JR駅）から新木場駅（JR）までの最短鉄道距離を基準とする。

④ 合計点が低いジュニアヨットクラブを優位とし順位を確定する。

⑤ 結果が同順位の場合は合計参加艇数の多いジュニアヨットクラブの方を優位とする。

それでも順位が確定できない場合は参加艇種の多い方を優位とし、それでも同じ場合は3艇の順位で上位の艇がある方を優位とし、更に同じ場合は参加艇数の多い種目での上位の艇がある方を優位として順位を確定する。

⑥ 国際交流ジュニアヨットクラブ対抗レースの成績は、国内ジュニアヨットクラブと海外ジュニアヨットクラブを合わせた全クラブの上記11. 3①、④、⑤により計算した順位により順位を確定する。

即ち、海外ジュニアヨットクラブは参加艇数が制限されていて、チャーター艇で参加する為、国内ジュニアヨットクラブに対する上記の②及び③の評価点は国内ジュニアヨットクラブにも海外ジュニアヨットクラブにも加算せずに比較して順位を確定する。

⑦ 国内ジュニアヨットクラブ対抗レースの成績は上記11. 3①～⑤の成績に基づいて、国内ジュニアヨットクラブの順位を確定する。

12 表彰

12. 1 特別表彰(文部科学大臣表彰、国土交通大臣表彰、他)

各種目の国内最高順位選手には次の通り特別表彰の賞状、賞杯を授与する。

- ① OP級上級者の最高順位選手に文部科学大臣の賞状と大臣杯及び奥村純雄杯
- ② OP級初級者の最高順位選手に国土交通大臣の賞状と大臣杯及び小澤吉太郎杯
- ③ レーザー4.7の最高順位選手に東京都知事杯と賞状
- ④ 国際420級の最高順位選手に江東区長杯（※）と賞状

12.2 個人連盟表彰

①各種目の国内上位入賞者第1位から第3位にはメダルを授与する。

②各種目の国内上位入賞者には、次の通りJJYU会長の賞状を授与する。

- ・ OP級初級者 第1位から参加艇数の3分の1の順位まで
- ・ OP級上級者 第1位から第8位
- ・ レーザー4.7 第1位から第6位
- ・ 国際420級 第1位から第6位

但し、いずれの種目も参加艇数が6艇未満の場合は第1位から第3位までとする。。

③国際交流表彰

・国際交流個人賞として海外選手が参加する種目において国内外を問わず上位入賞者第1位から第3位にはJJYU会長の賞状とメダルを授与する。

・海外選手の中での最高順位選手にはJJYU会長の特別賞杯（※）と賞状を授与する。

12.3 団体表彰

①国内ジュニアヨットクラブ対抗レースの表彰

- ・ 優勝クラブにはJJYU会長の賞状と会長杯を授与する。
- ・ 2位、3位にはJJYU会長の賞状と会長盾を授与する。

②国際交流ジュニアヨットクラブ対抗レースの表彰

- ・ 国際交流団体賞として上位入賞チーム第1位から第3位にはJJYU会長の賞状と会長盾を授与する。
- ・ 最高順位の海外チームにはJJYU会長の特別賞杯（※）と賞状を授与する。

12.4 特別賞（国内ジュニアヨットクラブ対抗レース入賞クラブ）

国内ジュニアヨットクラブ対抗レースの上位入賞3チームの選手3名（各チーム1名）を海外セーリング研修に派遣、その渡航費を援助する特別賞を授与する。

尚、各クラブにおいて派遣選手を選抜する際には、競技会概要第15項（3）の選考基準を配慮すること。

12.5 上記の（※）印以外の賞杯は持回りとし、翌年返還時にはレプリカを授与する。

13 サポートボートの持込み

「参加申込書」第5項に必要事項を記入の上、申し込むこと。

持込み料1艇1日750円は利用日数を計算して合計金額を参加料と一緒に振り込むこと。

<サポートボート許可の条件>

- (1) 船舶検査済みであり、何らかの保険（対人対物賠償責任保険、搭乗者傷害保険）に加入済
- (2) 出力5Wのデジタル簡易無線機を搭載する

（実行委員会が無償にて貸与するので、破損・損失補償の保証金10,000円を参加料と共に納入すること。特に何の問題もなく返却頂いた場合には、競技会終了後出来るだけ速や

- かに返金する。参加申込書に返金の振込先を記入すること。)
- (3) 参加受付時に貸与されるピンク色旗を掲揚しなければならない。
(掲揚のためのポールは当該クラブで用意すること。)

1 4 責任の所在

- 1 4. 1 本競技会の競技者は自分自身の責任（規則4「レースすることの決定」参照）において参加することが条件であることから、主催団体は、大会の前後、期間中に生じた物的損害または身体障害もしくは死亡に対するいかなる責任も負わない。
- 1 4. 2 レースに参加するか、またはレースを続けるかについての艇の決定の責任は、その艇にのみあるが、同時にその艇の選手が所属するクラブの代表者(引率責任者)はその決定について確認をして、その結果、クラブの選手全員について状況を把握することとする。

1 5 競技会実行委員会事務局

事務局長：熊川 博

Eメール info@jyu.net
F A X 0 4 6 6 - 9 0 - 3 6 1 8
電話 0 4 6 6 - 9 0 - 3 6 1 7
携帯電話 0 9 0 - 5 9 9 3 - 1 2 9 8

国際交流部長：小野澤秀典

Eメール nozawah@mq.pikara.ne.jp
F A X 0 8 7 - 8 6 8 - 3 0 7 7
電話 0 8 7 - 8 6 8 - 3 0 7 7
携帯電話 0 9 0 - 2 5 3 8 - 2 4 3 3

若洲海浜公園 ヨット訓練所
Wakasu Yacht Training Center

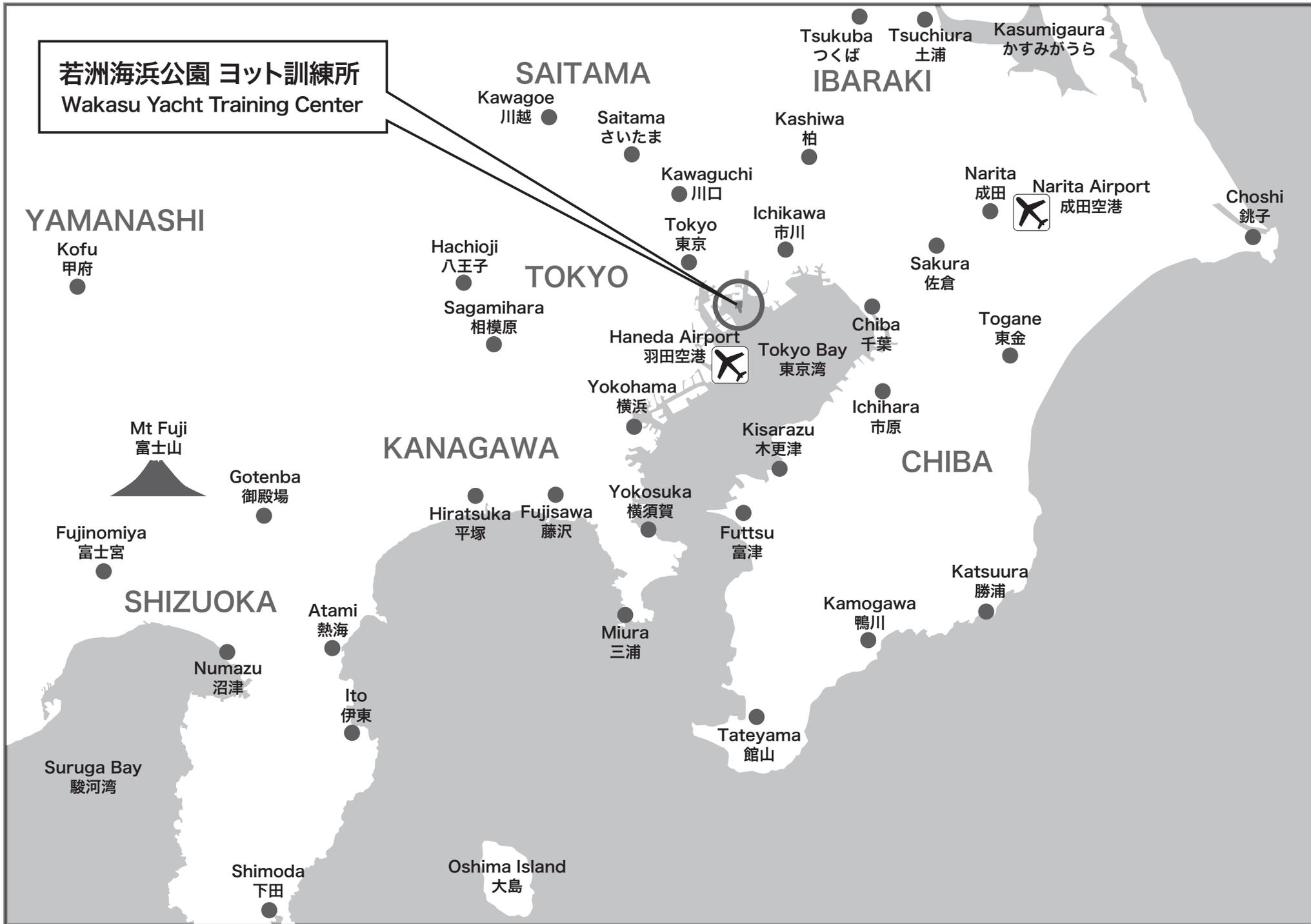
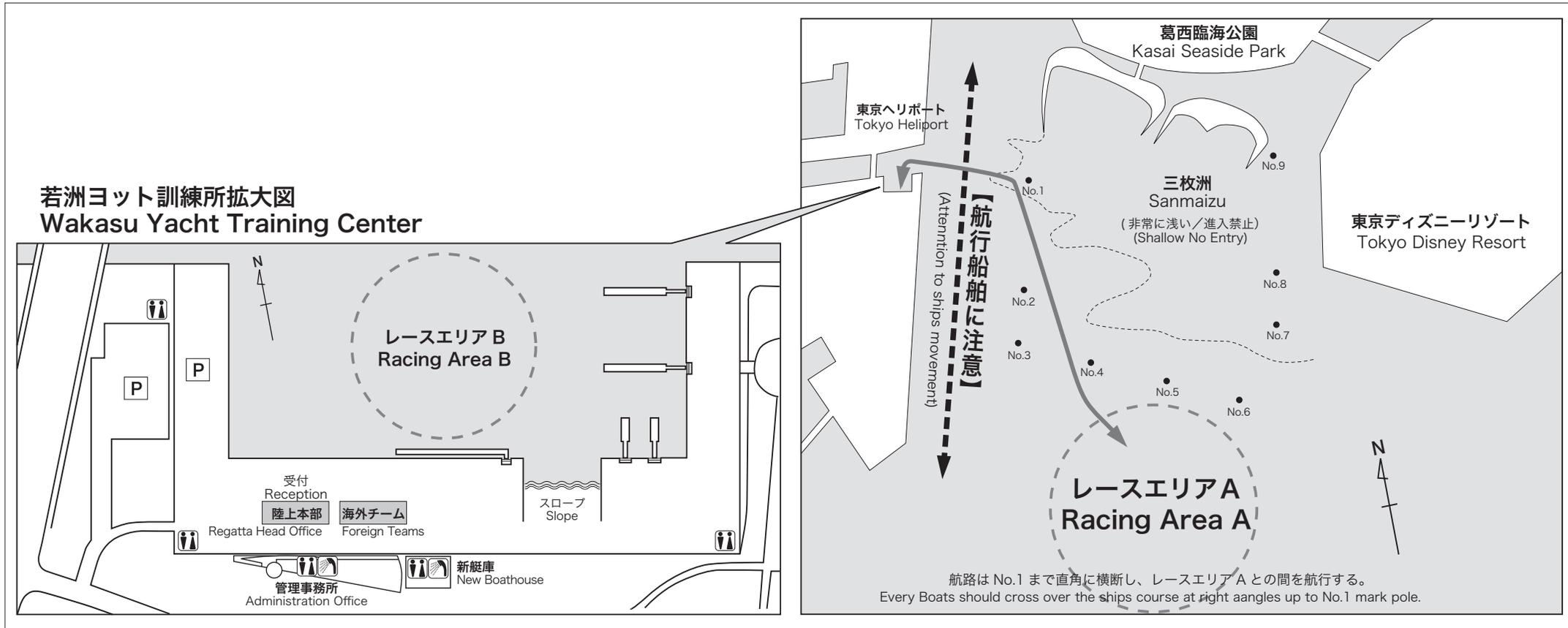


図-1 レースエリア Diagram-1 Racing Area



添付図-2 コース Diagram-2 The courses

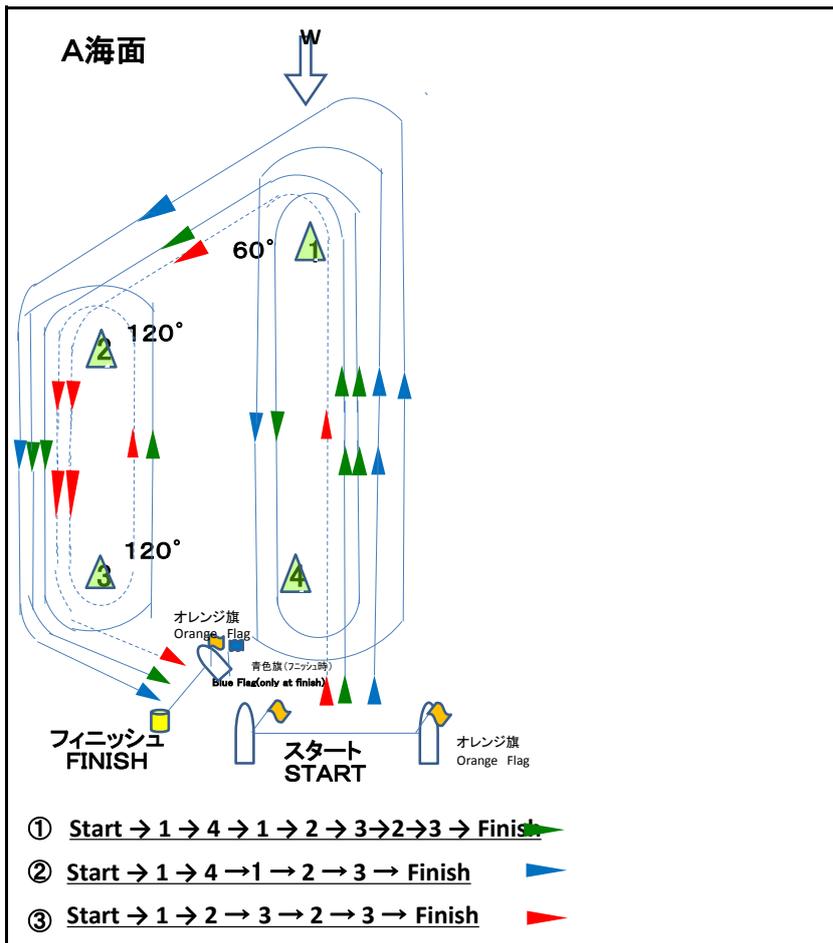


図-2-1 ① 国際420級
② レーザー4.7
③ OP級上級者

Diagram-2-1 ① International 420 Class
② Laser 4.7 Class
③ OP Advanced Class,

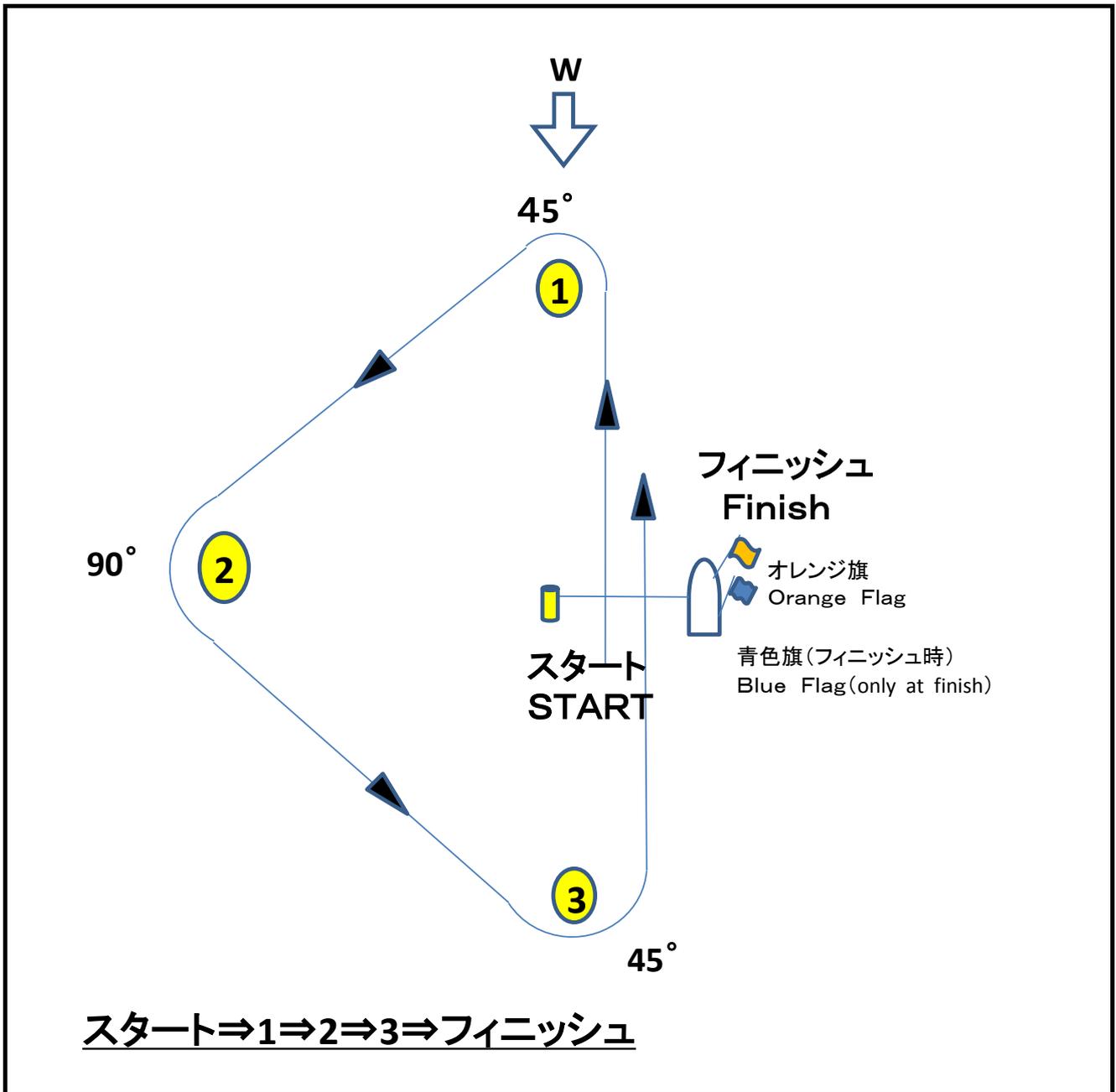


図-2-2-1 OP級初級者クラス
Diagram-2-2-1 OP Beginners' Class

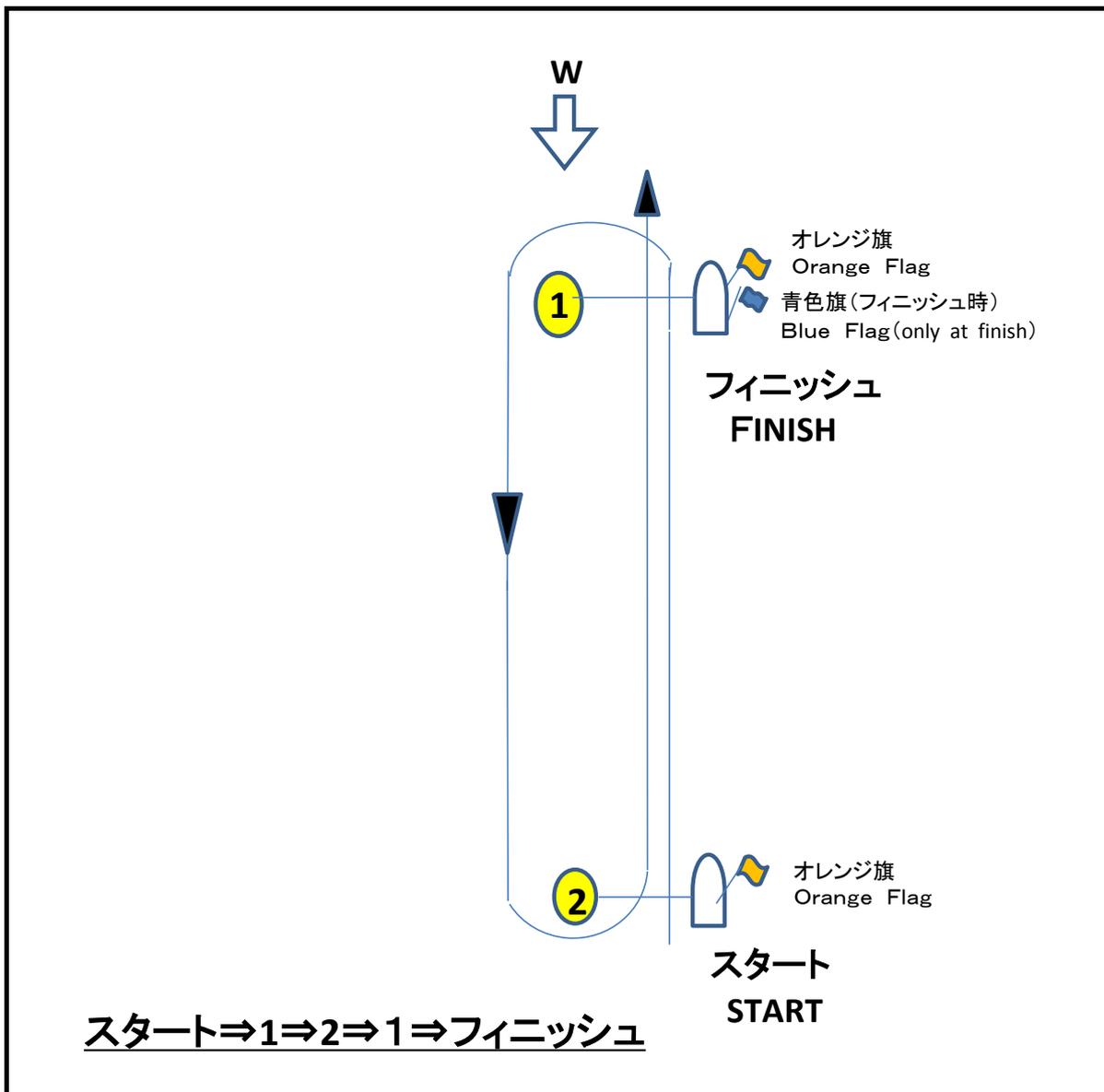


図-2-2-2 OP級初級者クラス
Diagram-2-2-2 OP Beginners' Class

※OP級初級者クラスのコースは気象・海象状況により、図-2-2-1又は図-2-2-2を使用する。

※OP Biginners's Class may use the course as per Diagram-2-2-1 or Diagram-2-2-2 depending on the weather condition.